

人権・同和問題啓発標語



やさしさは、
みんなのところに
花がさく

～ 2022年度 宝同協入選作品～

ひらい人権文化 センターだより

発行
宝塚市立ひらい人権文化センター
宝塚市平井6丁目3番38号
電話：88-2795
ファックス：88-2774
ひらいじんけん



令和5年度
(2023年度)

ひらい解放文化祭

「解放文化祭」は、さまざまな人権課題に焦点をあて、差別・偏見からの「解放」を目指して開催しています。みなさまぜひ、お越しください。

10日(金)

- 中筋出前児童館
- ひらいおはなし会
- 平井保育所和太鼓演奏
- 絵てがみ教室
- 人権・同和問題講演会

◇講師

宮前 千雅子さん

◇演題

水平社100年を経て
考える人権—部落問題を中心に—

11月10日(金) 9:00～21:00

11月11日(土) 9:00～20:30

会場

ひらい人権文化センター

主催

ひらい解放文化祭実行委員会

11日(土)

- 南ひばりガ丘中学校
有志による発表
- 人権わくわく学級生発表
- 子ども人権コンサート
- カラオケ発表会 など

他の人権文化センター文化祭のご案内

☆くらんど人権文化センター 10月26日(木)・27日(金)

☆まいたに人権文化センター 11月9日(木)・10日(金)

令和5年度 ひらい体験型人権学習会

ツラッティ千本
～銀閣寺

7月28日(金)に、小学生と中学生25名とその保護者他12名、合計37名の参加者と学校の先生9名、センター職員等を含め総勢52名で、京都市人権資料展示施設ツラッティ千本と銀閣寺を訪れました。

ツラッティ千本では、2グループになって施設の見学と講義をいただきました。施設の案内と講義は佛教大学の後藤直教授と、京都市北いきいき市民活動センター事務長の島田隆之さんに依頼しました。施設の見学は、昔の千本地域や家屋の模型、生活などの展示物を見て、現在の自分たちの生活様式とのちがいについて学びました。各家には台所、トイレ、お風呂などがなく共同利用となっていることや、家屋の模型に布団がないのはなぜなのかとの問いの答えが、毎日働いたお金で質屋に借りてくるといったことなどが分かり大変勉強になりました。

講義では「部落差別」・「河原者」をテーマにお話しいただきました。

千本地域は昔「蓮台野村」と言われていて、亡くなった人を弔う仕事に関わる「ひにん」「河原者」などと呼ばれる人々が暮らしていました。人の死は「ケガレ」たものと考えられ、それに関わることで差別を受けていました。北野天満宮の記録に河原者が梅木の世話をしていたことや、炎上した社殿の後始末を他の河原者に申し付けた際に、権益の回復を訴えたとされる「千本の赤」を主人公に「子どもたちに地域の歴史をわかりやすく伝えたい」という思いで絵本を制作したというお話と、ユネスコの世界文化遺産に登録された銀閣寺、その造園の作庭者として名前の挙がる善阿弥は河原者という被差別身分の出身ながら、室町幕府の八代将軍足利義政に重用され、その子「小四郎」と、その孫の「又四郎」の三代によって銀閣寺は完成されたという講義を聞いた後、実際に銀閣寺に行くと、自分たちの目で見て足で歩き庭園のすばらしさを実感し歴史を学びました。



施設見学
(屏風)



施設見学
(昔の千本地域)



講義の様子



世界文化遺産・銀閣寺



銀閣寺(庭園)